



国の重要無形民俗文化財 「瀧山寺鬼祭り」

明日15日(土)に、「天下の奇祭」として知られる「瀧山寺鬼祭り」が一般公開されます。国の文化審議会が、重要無形民俗文化財の新規指定について、1月24日(金)に文部科学大臣に答申した結果、愛知県指定無形民俗文化財である「瀧山寺鬼祭り」が国の重要無形民俗文化財に指定されることになりました。文化財の説明について、岡崎市のHPに下記のとおり書かれていましたので紹介します。



愛知県岡崎市の瀧山寺に伝承される鬼祭り、正月の法会(ほうえ)である修正会(しゅしょうえ)に行われる。鬼祭りは、その年の豊作を祈願する庭祭りと、災厄を祓う鬼の出る火祭りから主に構成される。庭祭りでは、十二人衆と呼ばれる一団が瀧山寺境内の舞台の上で、田打ちから田植えまでの稲作の作業を模倣的に演じ、豊作を祈願する。その後、鬼面と赤い装束をつけたの鬼が現れ、火祭りとなる。火祭りでは、若い衆が持つ松明(たいまつ)が燃え盛るなか、鬼たちは、本堂の外陣と回廊を巡り、また、手に持った大きな鏡餅を振り動かし、**五穀豊穡(ごこくほうじょう)**と**天下泰平(てんかたいへい)**が祈願される。

※**五穀豊穡**…「五穀」は米(こめ)、麦(むぎ)、粟(あわ)、黍(きび)または稗(ひえ)、豆(まめ)の5種類の穀物で、「豊饒」は作物などが豊かに実ること。豊作を祈願した。

※**天下泰平**…世の中が何事もなく無事に治まって平和であること。

冠面者(かんめんしゃ)は、祖父面(そふめん)、祖母面(そぼめん)、孫面(まごめん)の3人ですが、**孫面**を常磐小学校の2年生、**石原涼正(いしはらりょうま)**さんが務めます。涼正さんは鬼祭りに向けて、毎朝6時に滝山寺で念仏を唱えたり、給食は食べれないのでおばあさんが作ったお弁当を食べたり、おもちをついて奉納したりしたそうです。涼正さんは、「**本番は炎が熱いけれど、火が当たっても我慢して、家族と一緒に頑張りたいです**」と、力強く意気込みを語ってくれました。実は、祖父面は涼正さんのおじいさん、祖母面は涼正さんのお父さんが務め、**親子3代にわたって大役を担います。当日の活躍が楽しみです。**

縄跳びチャレンジ 最終日は短縄で自己記録を

2月4日(火)から始まった縄跳びチャレンジは、今日が最終日となりました。今回は短縄の日で、それぞれの目標達成を目指し先生たちにカードを見せ合格を目指していました。記録更新で満面の笑みを浮かべる子や、失敗して悔しがる子、くじけずに何度も何度も挑戦する子と様々でした。縄跳びを頑張ったことで、前よりも体力が向上したはず。縄跳び以外にも、**チャレンジ精神を忘れずに頑張りましょう。**

